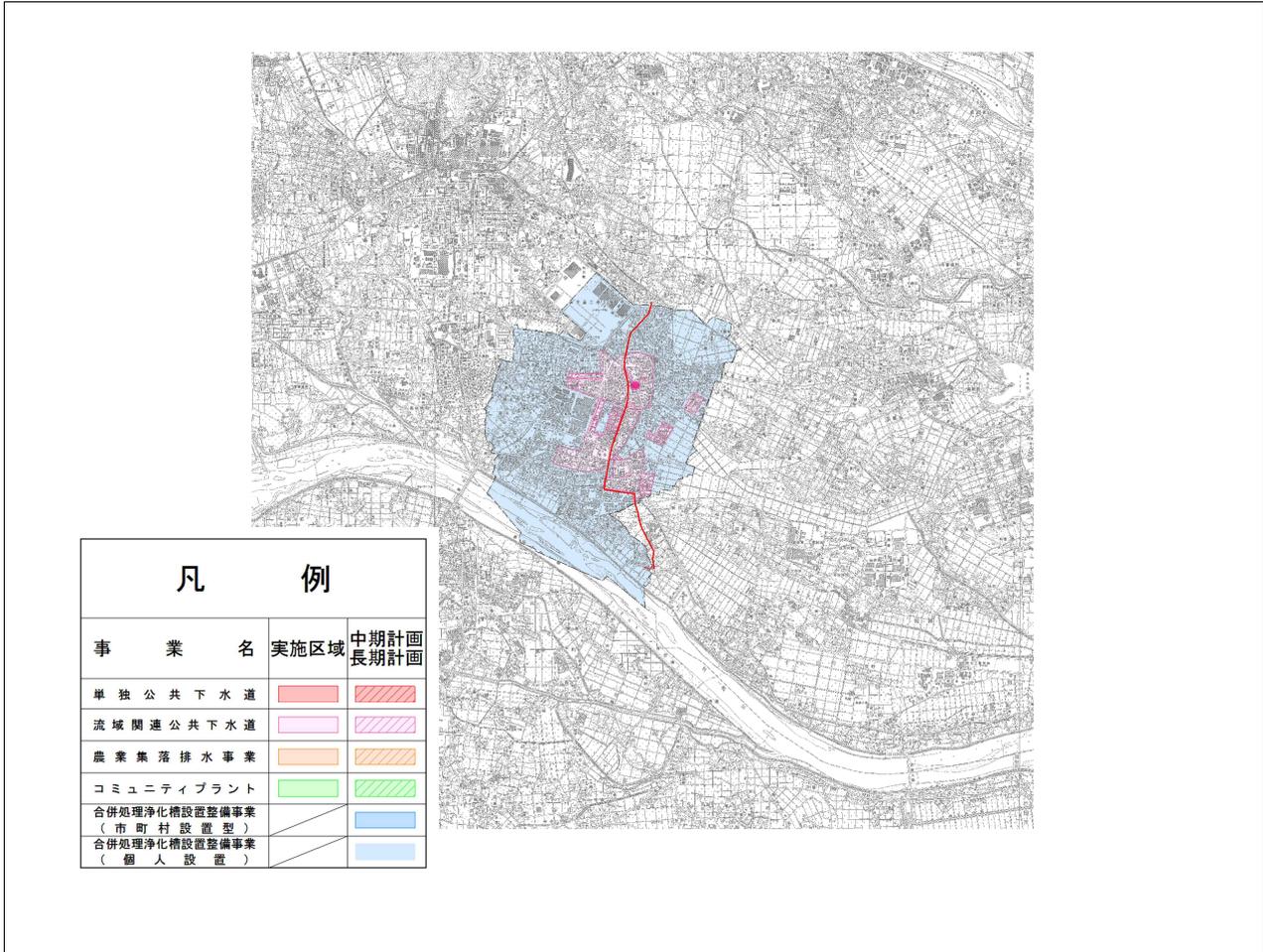


整備区域図



整備計画

①整備スケジュール

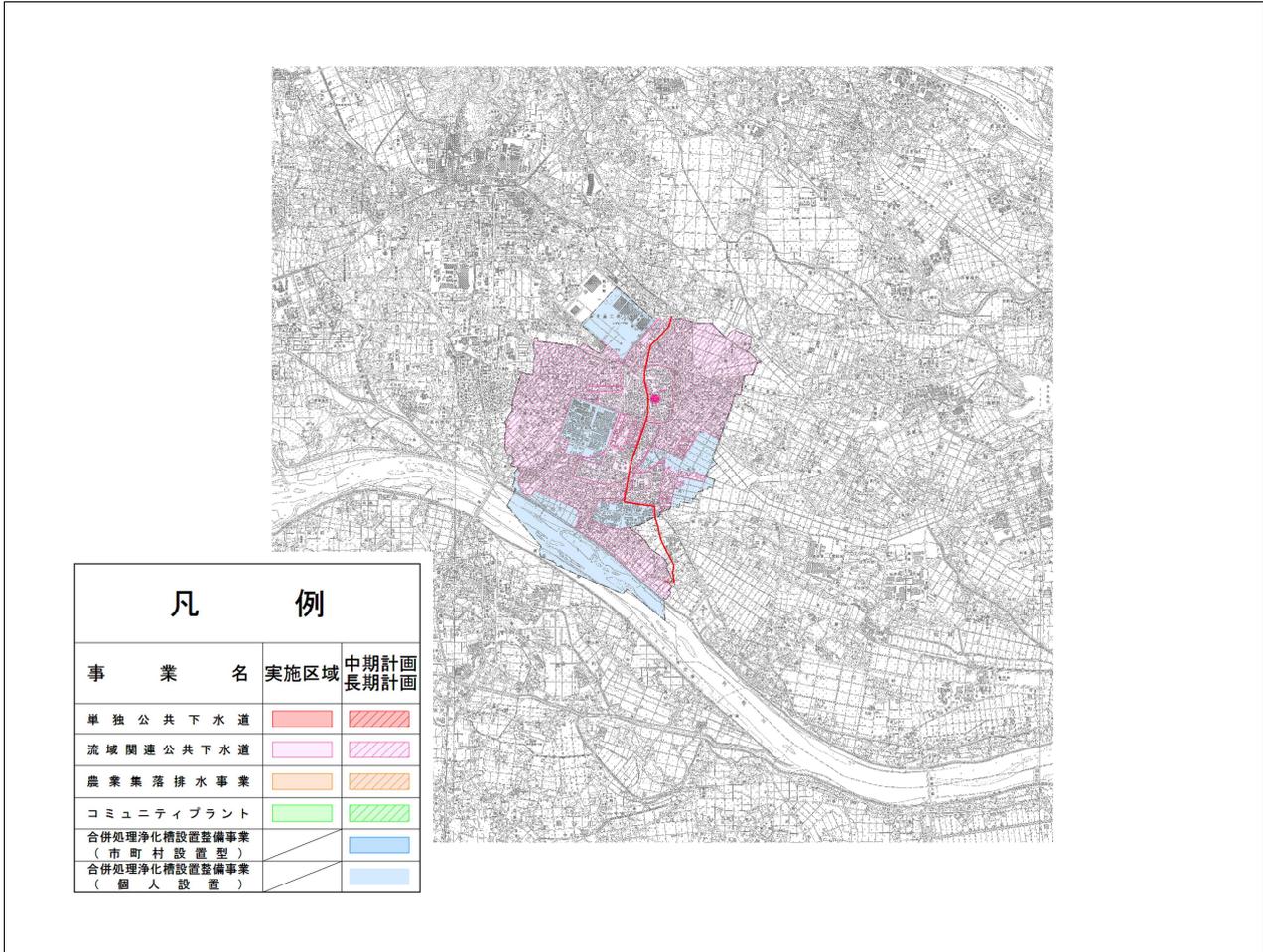
計画区分	事業	事業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年
施設整備	下水道	未整備地域の整備										
	農集排											
	浄化槽	浄化槽市町村整備推進事業 浄化槽設置整備事業										
実行メニュー (早期概成)	共通	期間短縮手法による整備の実施										

②目標値、目標指標

アクションプラン(平成34年)

		全体	公共下水道	集落排水 施設	浄化槽		その他	早期概成手法	備考 (早期概成手法の内容)
					個人 設置型	市町村 設置型			
整備手法	整備人口(人)	27,758	11,661	0	16,097	0	0		下水道整備事業については、リフ付き塩ビ管の採用やマンホール間隔の見直し、小型マンホールの採用など期間短縮手法を実施してきます。浄化槽事業については、広報やホームページでの合併浄化槽への転換促進のPRを実施して早期概成を目指します。
	整備面積(集合処理分)(ha)	310	310	0	-	-	0		
目標値	汚水処理人口普及率(%)		31		43				
概算 事業費	総建設事業費(百万円)	12,360	12,100		260				
	年間維持管理費(百万円/年)		4						
	計	12,360			260				
	整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)		1,038						
実施メニュー	期間短縮手法による整備の実施								

整備区域図



整備計画

①長期的な整備・運営管理内容

課題1	当初計画の幹線ルートでの整備を行うと時間及びコストが掛かる。
課題2	下水道接続率が上がらない。
課題3	整備後、20年以上経過する管路が増える。

②スケジュール

計画区分	事業	事業内容	15	20	25	30
			平成28	平成33	平成38	平成42
実行メニュー (運営管理)	共通	流域下水道幹線接続点の追加による幹線ルート見直しの検討	—————			
		供用開始後、3年を迎える地権者への職員訪問、未接続者への接続おねがい通知の配布広報やホームページでの接続PR、下水道排水工事指定店への営業活動の促進等の説明会の実施	—————			
		管路のTV調査を行い補修及び耐震計画の検討	—————			
			—————			

③目標値、目標指標

長期的な整備・運営管理

整備手法	項目	全体	公共下水道	集落排水施設	浄化槽		その他
					個人設置型	市町村設置型	
整備手法	整備人口(人)	35,177	35,177	0	0	0	0
	整備面積(集合処理分)(ha)	1,241	1,241	0	-	-	0
ベンチマーク (指標)	汚水処理人口普及率(%)		100				
	管きよ調査率(%)		19				
	重要な管渠の地震対策実施率(%)		100				
概算 事業費	総建設事業費(百万円)	48,440	48,440				
	年間維持管理費(百万円/年)		23				
実施メニュー	流域下水道幹線接続点の追加による幹線ルート見直しの検討						
	供用開始後、3年を迎える地権者への職員訪問、未接続者への接続おねがい通知の配布広報やホームページでの接続PR、下水道排水工事指定店への営業活動の促進等の説明会の実施						
	管路のTV調査を行い補修及び耐震計画の検討						